

令和 7 年度

四街道市
子ども読書活動推進計画策定委員会
(第 1 回)



四街道市教育委員会

第1回 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会 開催要項

令和7年8月27日（水）14：00～
四街道市役所第二庁舎 第二会議室

委嘱状交付

1 開会

2 教育委員会挨拶（府川 雅司 教育長）

3 会長・副会長選出

会 長	
副会長	

※会長挨拶

4 議題

（1）第五次推進計画策定にあたって

（2）「読書に関するアンケート」の実施について

5 諸連絡

- ・第2回 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会
令和8年2月3日（火） 14：00～
四街道市役所第二庁舎 第二会議室

6 閉会

委員名簿

	氏 名	備 考
1	渡辺 暢恵	東京学芸大学 非常勤講師
2	村上 伸	旭中学校 校長
3	林 尚子	南小学校 教諭
4	谷嶋 あゆみ	四街道北中学校 教諭
5	水野 由紀子	つぼみ幼稚園 教諭
6	秋山 有美	中央保育所 保育士
7	大塚 映子	図書館協議会委員 お話の小部屋 図書ボランティア
8	山田 理恵	社会教育委員 四街道小学校・旭小学校 学校司書
9	下山 仁志	保育課 課長
1 0	齋藤 久光	市立図書館 館長
1 1	水口 由美子	市 民
1 2	平田 文絵	市 民

※教育委員会 教育長 府川 雅司

※事 務 局 指導課 課 長 伊藤 友江
指導主事 田村 健太
指導主事 猪谷 龍哉

四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会 受付名簿

	氏名	出欠
1	渡辺 暢恵	○
2	村上 伸	○
3	林 尚子	○
4	谷嶋 あゆみ	○
5	水野 由紀子	○
6	秋山 有美	○
7	大塚 映子	○
8	山田 理恵	○
9	下山 仁志	○
10	齋藤 久光	○
11	水口 由美子	○
12	平田 文絵	○

四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項に基づく子ども読書活動推進計画の策定にあたり、その検討を行うため、四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、子ども読書活動推進計画の策定にあたり、市民意見の取りまとめを含め必要な事項についての協議、検討を行い、同計画の案を作成し、教育長に報告するものとする。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員13人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから四街道市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 教育に関する学識経験を有する者 1人
- (2) 小学校又は中学校の校長又は教頭 1人
- (3) 小学校又は中学校の教員 2人以内
- (4) 幼稚園及び保育園（所）の教諭又は保育士 2人以内
- (5) 図書館協議会委員 1人
- (6) 社会教育委員 1人
- (7) 行政関係者 2人以内
- (8) 公募により選出された市民 3人

3 教育委員会は、前項の規定により委員を委嘱するときは、原則として9人を超えて一方の性で占めないように努めるものとする。

4 委員は、前条に規定する報告が終了したときに、解嘱されるものとする。

(会長等)

第4条 策定委員会に会長及び副会長をそれぞれ1人置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、策定委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 策定委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会議において議決すべき案件があるときは、出席した委員の過半数をもって決し、可

否同数のときは、議長が決するところによる。

- 4 策定委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、会議に出席を求め、意見を聴くことができる。

（補助組織）

第6条 策定委員会に補助組織として、作業部会を設置する。

- 2 作業部会の長は、指導課長の職にある者とし、部会員は、別表1に掲げる所属の者をもって充てる。
- 3 作業部会は、計画の策定に関する資料収集、素案作成等を行うほか、特に部会長が必要と認めた事項について調査検討する。
- 4 作業部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 5 部会長に事故あるとき又は欠けたときは、部会長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

（庶務）

第7条 策定委員会の庶務は、教育委員会指導課において処理する。

（委任）

第8条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営等に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成28年1月11日から施行する。
- 2 第3条第2項の規定による委員の委嘱後最初に開かれる会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

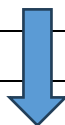
別 表 1

（作業部会）

役 職	所 属 課
部会長	指導課長
部会員	指導課 （2名）
	図書館 （1名）
	社会教育課 （1名）
	保育課 （1名）
	健康増進課 （1名）

四街道市子ども読書活動推進計画（第五次）策定にあたって

1 これまでの経緯

	計画期間	合言葉やスローガン
第一次計画	平成19年度～平成23年度	【合言葉】 すべての子どもに 読書の喜びを
第二次計画	平成24年度～平成28年度	【スローガン】 読書で拓く 子どもの未来
第三次計画	平成29年度～令和3年度	
第四次計画	令和4年度～令和8年度	

2 策定の趣旨

四街道市教育委員会では、令和6年3月に第2期四街道市教育振興基本計画を策定しました。子どもの読書活動の推進については、「基本目標1『学ぶ』人づくり、施策2生涯にわたって主体的に学ぶ」に、重点事業として位置付け、「四街道市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書の好きな子どもを育てることを明記しています。

令和4年3月に策定した「四街道市子ども読書活動推進計画（第四次）」が令和8年度までの計画であることから、これまでの成果や課題等を検証した上で、国が定めた「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（令和5年3月）及び千葉県の「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」（令和2年2月）を参酌しながら、より一層の読書活動の推進を図ることができるよう、第五次計画を策定します。

3 策定の方法

計画の策定にあたっては、第四次計画期間中における成果と課題、第五次計画策定に向けた「読書に関するアンケート」（令和7年9月実施予定）の結果、子どもを取り巻く読書環境の変化等を踏まえ、策定委員会及びその補助組織として庁内組織の作業部会で検討を重ねながら、策定作業（令和7年度から令和8年度）を進めていきます。

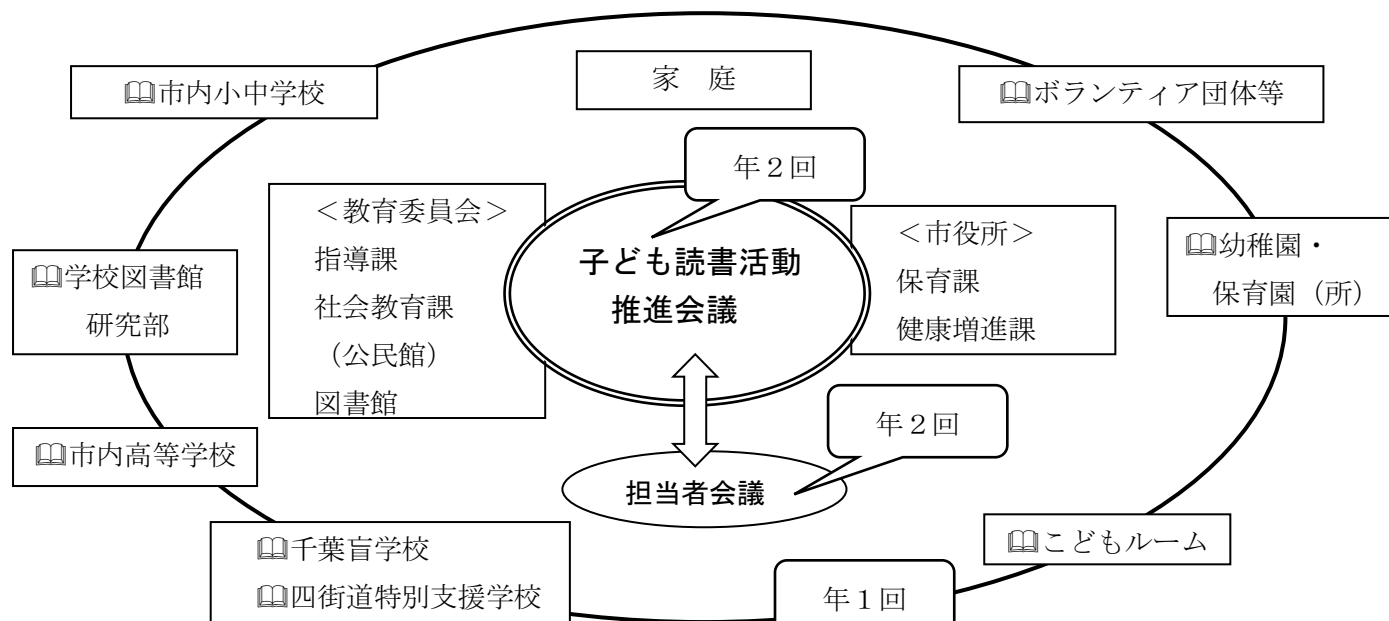
※策定委員会は、令和7年度に2回、令和8年度に2～3回開催予定

4 計画の概要

- ・本計画の期間は、令和9年度からおおむね5年間とします。
- ・本計画でいう「子ども」とは、おおむね18歳以下の者をいいます。
- ・基本方針と、基本方針をもとにした具体的な方策を示します。
- ・計画推進のスローガンは、第四次計画から引き続き「読書で拓く 子どもの未来」とし、家庭・地域・学校等の連携強化により、読書活動のさらなる充実を図ります。

5 現在の状況

(1) 推進体制の整備



※上図📖マークの団体等は、子ども読書活動推進連絡会のメンバー

○子ども読書活動推進会議・担当者会議

推進計画に示された事業の推進を図るため、事業の進捗状況を確認するとともに、計画全体について継続的に協議し、必要に応じて修正を行っています。

○子ども読書活動推進連絡会

子どもの読書活動に係る幼稚園・保育園（所）や小中学校、高等学校、特別支援学校と関係機関、ボランティア団体等が、共に研修や情報交換を行っています。

(2) 目標とする数値について

令和8年度を目標年度とし、子どもの読書活動の推進状況を把握するために目標とする数値を定めています。

※②③は、特別な支援を必要とする子どもについては、支援者と共に読んだ本もカウントする。(読み聞かせも含む)

①図書館・公民館における児童書貸出冊数

令和元年度末 102,033冊 ⇒

令和6年度末 101,546冊 ⇒

令和8年度末 110,000冊

②学校図書館における児童生徒一人あたりの貸出冊数

	令和元年度末	令和6年度末	令和8年度末
小学生	46.2冊	48.5冊	50冊
中学生	8.4冊	8.3冊	10冊

③1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合

	令和2年度末		令和8年度末
小学校2年生	1.1%	今後調査 予定	0.5%以下
小学校5年生	3.0%		2.5%以下
中学校2年生	6.9%		6.5%以下

④図書館における団体貸し出し資料の貸出冊数

	令和元年度末	令和6年度末	令和8年度末
団体貸出冊数	11,329冊	12,859冊	12,000冊

(3) 第四次計画についての取組・成果と課題（令和6年度） *別紙

6 子どもの読書環境を取り巻く情勢の変化

(1) 教育におけるデジタル化の進展

- ・小学校、中学校、特別支援学校、高等学校における児童生徒向け一人一台端末の活用
- ・学校における通信ネットワークの整備
⇒ICT 機器の効果的な活用、学校図書館や図書館の DX の推進

(2) 多様な子どもたちの読書機会確保の必要性

- ・日本語指導を必要とする児童生徒の増加
- ・特別支援学校や小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の増加
- ・不登校児童生徒の増加
- ・相対的貧困状態にある子どもやヤングケアラーへの対応
⇒全ての子どもたちの可能性を引き出すために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に資する読書環境の整備、読書機会の確保

(3) 子どもの視点に立った読書活動の推進

- ・子どもが主体的な読書活動を行えるよう、子どもの意見聴取の機会の確保
⇒多様な子どもの意見を取組に反映

㊦・・・健康増進課	㊨・・・図書館
㊧・・・保育課	㊩・・・指導課
㊪・・・社会教育課	

第四次計画についての取組・成果と課題（令和6年度）

方 策	事業 番号	○ 成 果	▼ 課 題
1 家庭における推進方策			
乳幼児への働きかけ	1	○保健センターに保健推進員が作った掲示物を掲示し、月齢別のおすすめの絵本紹介をした。 ○3～4か月児相談の集団指導時に保護者が読み聞かせの楽しさを体験するために、図書館スタッフによる親子への読み聞かせを実施した。㊦ ○「おはなし会」「おひざでだっこのおはなし会」「絵本の会」を開催し、絵本やわらべ歌の情報提供を行うことできた。 ○図書館サポーターと連携し、「ベビールーム図書館ん家」の実施や、わらべ歌や読み聞かせのイベントを開催した。 ○「絵本の選び方講座」0～2歳向け、幼児向けを各1回開催。「絵本をまるごと楽しむ会」2月開催。㊨	
子育て学習講座の実施	2	○子育て学習講座において、子どもの成長に合わせた選書や、読み聞かせの重要性を盛り込んだ内容を提供した。（吉岡小、四街道小、みそら小）㊪	

地域・家庭教育学級への読書活動支援	3		▼PTA 連絡協議会会長会、市内全小中学校あて、地域・家庭教育事業の開催例等の紹介を行い周知を図り、つばみ幼稚園で開催されたが、令和6年度は、事業受託学級の企画内容に読書活動はなかった。㊤
家庭への啓発と情報発信	4	○市内公民館（2館）において、親子対象の主催講座の開催（6～7回開催）のプログラム内で読み聞かせの時間があり、一般的に出版の絵本や、大型絵本を使用して親子で体験することで読み聞かせの大切さを実感させ、各家庭内での読み聞かせの啓発に繋げることができた。 (旭は工事休館のため実施出来ず) ㊤	
2 地域における推進方策			
移動図書館の活用促進	5	○年度当初、巡回実施校の1年生の保護者へ巡回日程と利用カードの作成を案内し、460人へ利用カードを交付することができた。 ○令和6年度(12月末時点)、移動図書館用に児童書331冊購入。	▼年度後半になると利用者数が減少することと、高学年の利用促進が課題。㊤
児童、青少年の図書の充実	6	○基本図書の収集をノンフィクション中心に行った。情報の新しい資料となり、幅広いジャンルで貸出されていた。 ○英語日本語併記の絵本やCD付きの絵本などを積極的に収集した。ペルシャ語の絵本の寄贈を受けることができた。㊤	▼希望の多いペルシャ語やアラビア語の資料の収集が課題。㊤

職員研修の充実	7	○ボランティアに対し事前に研修会を行い、おはなし会、絵本の会へ参加してもらった。 ○児童書展示会に参加した。ほか県主催の研修会に参加。 ㊤	
児童サービスの充実	8	○開館前後は児童室の書架整理や展示資料の確認をするなど、努めてフロアに出ている。委託業者には児童室に児童書に詳しいスタッフを充てるよう依頼している。 ○利用者から上がった声(○才の子に○○についての絵本を聞かれた等)を報告してもらい、選書に反映している。 ㊤	
レファレンス・読書案内の充実	9	○レファレンス記録(メモ)は、委託業者も集積に努めている。 ○展示は13回、ミニ展示12回、季節展示4回行った。昨年に続き4月に「本のおたのしみぶくろ」8月にクイズラリーを行った。 ○児童向けブックリスト20部うち4部改訂。㊤	
子どもと本をつなぐ大人への支援	10	○新規に出版された児童書研究資料やブックリストの購入に努めた。 ○子どもの本の学習講座5回実施し延べ55名参加した。最終回にボランティアを招き、活動案内を行った。 ○市内高等学校からの依頼により、読み聞かせ講座を実施し、延べ27名が参加した。㊤	

「はじめまして、絵本」等、子どもと本を結ぶ「ブックスタート」事業の推進	1 1	○ブックスタート会場にて、絵本の読み聞かせと図書館の利用案内を行った。 ○セカンドブック絵本配布を行った。図書館での受取のため、来たことのない市民が初めて来館するきっかけとなっている。 ○おひざでだっこのおはなし会は1月まで10回開催118人参加。㊤ ○3～4か月児相談で図書館の案内リーフとともに絵本の配布を参加者に行い、図書館利用のきっかけづくりをおこなった。 ○保護者が読み聞かせの楽しさを体験するために、図書館スタッフによる親子への読み聞かせを実施した。㊤	
「セカンドブック」事業の推進	1 2	○2歳半歯科検診対象者に絵本を配布する「セカンドブック」事業を実施。12月末までに248名に図書館へ来館していただき、絵本の引換と読書案内を行った。図書館での受取のため、来たことのない市民が初めて来館するきっかけとなっている。㊤	
子どもに関わる機関、施設等への支援	1 3	○小学校10校、中学校5校に訪問し、学校司書からの除籍や読書案内などの各種相談に対応した（年度内に全校完了）。 ○出張おはなし会を6カ所に26回行い延べ560人が参加。来館おはなし会を2園に9回行い延べ188人が参加。（1月末日現在） ○保育所に、園児用とは別に、保護者や園児に貸出ができる文庫コーナーを作るための団体貸出を行った。㊤	
団体貸出の充実	1 4	○幼稚園2園、保育所・園19園、小学校12校、中学校5校、高校2校、子どもルーム14ルーム、他放課後デイサービス7団体、文庫・子育て支援センター各1施設に9,394冊貸出を行った。（1/28時点）㊤	▼未利用団体へのPRが課題。㊤

電子図書館の促進	1 5	○R6 年度、電子書籍（児童関連）は、新規に 32 点購入（1 月末日現在）。 ○学校で児童に配布したタブレットに、電子図書館へのリンクを登録済み。㊤	▼中学生の利用が少ないことが課題。㊤
公民館親子教室での啓発	1 6	○市内公民館（2 館）において、親子対象の講座（6 ～ 7 回開催）のプログラム内で読み聞かせの時間があり、一般的な絵本や、大型絵本を使用して親子で体験することで読み聞かせの大切さを実感させ、各家庭内での読み聞かせの啓発に繋げている。一部の館の公民館まつりでも、読み聞かせを得意とするサークルが参加して来館された親子に読み聞かせを披露した。とても興味深く聞き入って楽しんだ様子。（旭は工事休館のため開催できず）㊤	
公民館図書室の充実	1 7	○不定期ではあるが、図書館職員が来館のうえ、本の入替え、書架の整理、本の展示等を行っている。㊤	
子どもルームにおける読書活動の推進	1 8	○夏季保育前に図書を購入することで、長期休暇中に読書の時間を確保できた。 ○今年度も継続して支援員による読み聞かせを行い、児童の想像力、言語能力を育むことができた。 ○様々な本にふれあう為に移動図書館などの活用を周知した。 ○ボランティア団体による読み聞かせの活動を定期的に設けた。㊤	

3 学校等における推進方策			
幼児向け図書の充実	19	○各クラスの絵本棚の絵本を月初めに入れ替え、各年齢にあった季節の本を楽しめるようにしている。 ○季節に合った絵本の読み聞かせをしてもらうことで、子ども達が季節の行事などに興味関心を持ち楽しんでいた。 ○子ども達の興味・関心にあった絵本を購入し、子どもが自由に絵本に触れることが出来るよう環境を整えた。 ○絵本を通じて、季節の行事の知識を深めたり、情緒の発達や安定を図った。㊦	
読書環境の整備	20	○事務室前に絵本コーナーを設置し、季節に応じた絵本を掲示した。子どもが保護者と共に絵本を見たり読んだりすることで、より季節行事を楽しむことができた。 ○各クラスで年齢や季節に合うように月初めに入れ替え、すぐ手に取れる棚に置き、いつでも楽しめる環境づくりをしている。 ○保健関係や防災についての絵本を購入し多くの絵本に触れられるようにした。 ○市の図書館と連携し、図書館にある絵本や保護者向けの本、保育所の絵本を貸し出しする「まちのとしょかん」を玄関近くに設置した。お勧め絵本の紹介ポップを掲示することで興味を持てるようにしていった。㊦	

お話会の実施	2 1	○月 1 回ボランティアの方々による読み聞かせ（中央保育所では「お話の小部屋」、千代田保育所では「絵本とお話の会」という題）を実施した。また、読み聞かせをしてもらった本や手遊びを保護者にも紹介した。 ○中央保育所の子育て支援センターでは「みんなでわらべうた」を月 2 回（各グループ 1 回）実施した。開始前、参加者にアンケートをとり、それぞれの悩みに応じたわらべうたを選んでくださり、終了後相談にものってくださっている。㊦	
職員研修の実施	2 2	○日々の保育の中でお互いに子どもが興味がある本の情報交換し、取り入れていった。また、絵本の読み聞かせや手遊びを行い、お互いに学び、生かしていった。 ○実習生やボランティアの方から手遊びを教えてもらい、楽しむことができた。 ○職員間で年齢や発達に沿った絵本や手遊びの情報交換し、取り入れていくことができた。㊦	
家庭の啓発・情報発信	2 3	○連絡ノートやクラス掲示などで子ども達が興味をもっている絵本や楽しんでいる絵本を伝えていった。 ○貸し出し図書のコーナーに、読み聞かせしやすい本を置き紹介していった。 ○家庭での絵本の読み聞かせのきっかけとなるよう、クラスで楽しんでいた絵本をクラスの内外に掲示した。 ㊦	

読書タイムの実施	2 4	○すべての小中学校で読書タイムを実施した。 ○上級生が下級生に読み聞かせを行うなど各校の取組について情報交換を行った。㊦	▼年度当初に各校の教育課程に読書タイムが組まれているか確認する必要がある。㊦
ボランティア等と連携したお話会の実施	2 5	○夏の連絡会には4団体が参加し、学区ごとに各校の取組について情報交換を行った。㊦	
特別支援学級での読み聞かせの実施	2 6	○学校司書による読み聞かせや本の紹介を行い、研修会で情報を共有した。㊦	
調べ学習の充実	2 7	○読書活動推進研修会では、先進地区の小学校長を講師として招き、読書活動推進についての講義を受けた。 ○各種研修会で、学校図書館の活用をテーマとした協議や情報交換の時間を設け、具体的な取組について考えることができた。㊦	
学校図書館資料の充実	2 8	○南小が学校図書館図書標準を達成し、小学校全校が優秀図書館となった。 ○分類別蔵書冊数を調査し、研修会で情報を共有した。㊦	▼古い本や複本が多く、計画的に入れ替えをする必要がある。全国図書館協会の例を参考に図書選定基準・廃棄基準の策定を進めていく。㊦
読書活動推進に係る教職員研修の充実	2 9	○学校図書館の利用や朝読書の本の選び方、学校司書との連携について、学校職員に伝達する時間を設けた学校があった。㊦	▼「読書活動推進研修会」について、研修内容を周知はしているが、職員会議等で全員に周知する学校が少なかった。 ▼学校司書研修会の内容については、多くの学校で伝達できていないため、市で時期を決めるなど伝達しやすい環境を作る必要がある。㊦

読書行事の開催	3 0	○全小中学校で、図書委員や学校司書が中心となって、読書に親しむための行事が行われた。 ○各校の取り組みは研修会等で情報交換した。㊦	
児童生徒によるお話会の実施・POPやブックリストの作成	3 1	○小学校において、上級生が下級生に読み聞かせを行った。 ○児童が作成したパペット劇の動画を就学前の園児に見せた。 ○中学3年生の保育実習では、3校の生徒が園児に読み聞かせをした。㊦	▼高校生が小学生へ読み聞かせを行う活動を復活させようとしたが、日程調整がうまくいかなかった。㊦
家庭の啓発・情報発信	3 2	○市内全校で図書だよりを発行しており、研修会に持ち寄って内容を共有するとともに、家庭への周知の方法について、情報交換を行った。㊦	
学校司書の配置	3 3 3 4	○全校配置の継続。14名（3名兼務） ○令和7年度は大規模校について、勤務日数が拡充される予定。㊦	▼年間の勤務日数について拡充できるよう予算要望していく。㊦
学校司書の研修の充実	3 5	○年3回研修を実施し、学校司書の資質の向上を図った。 ○他市の学校司書を講師として招き、授業支援の取組等について、情報交換をした。㊦	
教職員と学校司書の連携の強化	3 6	○多くの学校で、学校司書と担任や教科担任が連携し、図書館の利用方法や本の分類について説明する機会を設けることができた。 ○研修会では学校規模ごとに各校の取組を共有した。㊦	

学校図書館システムの活用	37	○蔵書データの作成方法を周知し、全学校で活用している。 ○新システムの導入について調査を始め、他市よりシステムの概要について説明を聞いた。㊦	
「四街道子どもブックリスト」の活用	38	○研修会で、ブックリストの活用方法の情報交換を行った。 ○市立図書館のホームページへの掲載や学校での掲示により周知を図った。㊦	
4 家庭・地域・学校等間の連携・協力の推進			
見学の受け入れ	39	○図書館見学は幼稚園1園、保育園1園を受け入れた。 ○インターンシップは大学生3名を受け入れた。㊦	
ボランティアによる支援の充実	40	○研修会でボランティアの活用について情報共有した。 ○夏の連絡会には4団体が参加した。㊦	
「子ども読書活動推進連絡会」の開催	41	○「子ども読書活動推進連絡会」において、幼稚園、高校、ボランティア団体から読書活動推進の取組状況について情報共有し、今後の活動に繋がるよう連携を図った。㊦	

5 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及			
情報提供の充実	4 2	○授業支援用図書の充実を図り、要望の多い資料の購入に努めた。 ○学校図書館に向く新着図書のおすすめを、各校訪問時や学校司書が来館した際に行った。 ○新着図書リストを作成し、Teams で学校司書へ配布した。㊦	
情報提供の充実	4 3	○4 か月児相談で絵本に同封された図書館案内リーフについて、口頭で案内を行い周知した。 ○2 歳 6 か月児歯科健診でセカンドブックの案内をした。 ○保健センターに掲示物を掲示し、月齢別のおすすめの絵本紹介をした。㊦ ○3, 4 か月児検診会場で司書とボランティアで読み聞かせや図書館利用案内を行った。1 月分までで 454 名へ絵本を配布した。㊦	
子ども読書活動推進会議及び担当者会議の設置	4 4	○推進会議と担当者会議を年に 2 回ずつ実施し、各課の取組や進行状況について情報共有を図り、次年度に向けた取組について確認した。 ○各会議で第五次計画に向けたスケジュールやアンケートを検討する時間を設けた。㊦	
関係機関の連携	4 5	○保育所（園）・幼稚園・子どもルーム等の団体へ図書館利用案内やリサイクル資料提供案内を配布し、サービスの情報提供を行った。㊦	

「読書に関するアンケート」の実施について

1. 目的

読書に関する児童生徒及び保護者の実態や意識調査を行い、四街道市子ども読書活動推進計画（第五次）の基礎資料とする。

2. 対象者

- ・市内小学校2学年児童及びその保護者（児童数 840名）
 - ・市内小学校5学年児童及びその保護者（児童数 904名）
 - ・市内中学校2学年生徒及びその保護者（生徒数 854名）
 - ・市内公立高等学校2校の2学年生徒（生徒数 560名）
- ※小中学校では、特別支援学級在籍児童生徒も含む。

3. 実施期間

令和7年9月22日（月）～10月10日（金）

4. 内容

別紙

5. 実施方法

タブレット端末やスマートフォンを利用して回答する。

（1）市立小中学校児童生徒、市内高等学校生徒
学校で実施

（2）小中学校児童生徒保護者

指導課が作成するアンケート依頼文に記載されているQRコードからスマートフォン等で回答

6. 結果の活用

令和8年2月開催予定の第2回子ども読書活動推進計画策定委員会で提示し、計画策定に活用。

「読書に関するアンケート」 市内小・中・高等学校の児童生徒用

☆このアンケートについては、教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞきます。

No.	質問（形式）・選択肢	No.	分岐
1	あなたは、本を読むことが好きですか。 ・好き ・どちらかというと好き ・あまり好きではない ・好きではない	2	本を読むことが好きになったのはなぜですか。（複数回答） ・家の人が読んでくれた ・学校での読み聞かせ ・家族や友人にすすめられて ・インターネットで調べて ・その他
		3	読書時間に満足していますか。 ・満足している ・どちらでもない ・満足していない
		4	読書時間に満足していないのはなぜですか。（もっと読みたいのに読めない理由）（複数回答可） ・勉強や習い事で時間がない ・遊んだりゲームをしたり別の事で時間がない ・本がたりない ・その他
		5	家や図書館（公民館、わろうべの里など）で、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞきます。）
	7 へ		

			・ 2 時間以上 ・ 1 時間～ 2 時間 ・ 3 0 分～ 1 時間 ・ 1 0 分～ 3 0 分 ・ 1 0 分より少ない ・ まったくしない
			6 家や図書館（公民館、わろうべの里など）で、休日（土日、祝日）に 1 日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞきます。） ・ 2 時間以上 ・ 1 時間～ 2 時間 ・ 3 0 分～ 1 時間 ・ 1 0 分～ 3 0 分 ・ 1 0 分より少ない ・ まったくしない
7	本を読むことが好きではないのはなぜですか。（複数回答可） ・ 字を読むのが苦手 ・ おもしろくない ・ 読むのが面倒 ・ 途中で飽きてしまう ・ その他		
8	家や図書館（公民館、わろうべの里など）で、ふだん（月曜日から金曜日）、1 日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞきます。） ・ 2 時間以上 ・ 1 時間～ 2 時間 ・ 3 0 分～ 1 時間		

	・ 10分～30分 ・ 10分より少ない ・ まったくしない		
9	家や図書館（公民館、わろうべの里など）で、休日（土日、祝日）に1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞきます。） ・ 2時間以上 ・ 1時間～2時間 ・ 30分～1時間 ・ 10分～30分 ・ 10分より少ない ・ まったくしない		
10	あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことはありますか。 ・ よくあった ・ たまにあった ・ あまりなかった ・ なかった ・ 覚えていない		
11	あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか。（複数回答可） ・ 自分の家 ・ 学校の図書館 ・ 教室 ・ 図書館（公民館やわろうべの里） ・ 外出先（図書館、公民館、わろうべの里以外） ・ その他		



12	あなたは本を読むとき、その本をどのようにして手に入れることが多いですか。(複数回答可) ・ 家にある ・ 買う (買ってもらう) ・ 教室にある ・ 学校の図書館で借りる ・ 図書館 (公民館やわろうべの里) で借りる ・ 友達に借りる ・ 先生に借りる ・ インターネット ・ その他		
13	あなたが本を読むのはどうしてですか。(複数回答可) ・ 知らないことがわかるから ・ 感動できるから ・ 楽しいから ・ 友達が読んでいるから ・ 考える力がつくから ・ 勉強に必要だから ・ その他		
14	あなたは最近 1 か月間に、本を何冊ぐらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞきます。読んでいる途中でも 1 冊に入れます。) ・ 0 冊 ・ 1 ～ 2 冊 ・ 3 ～ 4 冊 ・ 5 ～ 6 冊 ・ 7 ～ 9 冊 ・ 10 冊以上		15
			最近 1 か月間に読んだ本のうち電子書籍は何冊ありますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞきます。)

			・ 0 冊 ・ 1 ～ 2 冊 ・ 3 ～ 4 冊 ・ 5 ～ 6 冊 ・ 7 ～ 9 冊 ・ 1 0 冊以上
16	学校での読書タイムをきっかけとして、本を読む時間や回数が増えましたか。 ・ 増えた ・ やや増えた ・ 変わらない ・ やや減った		
17	学校で、昼休みや放課後に、図書室へどれくらい行きますか。 ・ だいたい週に 4 回以上行く ・ 週に 1 ～ 3 回行く ・ 月に 1 ～ 3 回行く ・ 年に数回行く ・ ほとんどまたはまったく行かない		
18	放課後や学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、図書館（公民館やわろうべの里）へどれくらい行きますか。 ・ だいたい週に 4 回以上行く ・ 週に 1 ～ 3 回行く ・ 月に 1 ～ 3 回行く ・ 年に数回行く ・ ほとんどまたはまったく行かない		

19	授業で本を使う学習活動は好き（楽しい）ですか。 ・好き（楽しい） ・どちらかというとき好き（楽しい） ・あまり好きではない（あまり楽しくない） ・好きではない（楽しくない）	20	本を使う学習活動が好きな理由はなんですか。（複数回答可） ・自分で調べるのが好き ・自分でまとめるのが好き ・図書室の先生に教えてもらえる ・本を使うのが好き ・その他
22	調べたいことがあるときに何を活用しますか。（複数回答可） ・本や図鑑、事典 ・新聞や雑誌 ・詳しい人に聞く ・インターネット・テレビ、ラジオ ・その他	21	本を使う学習が好きではない理由はなんですか。（複数回答可） ・調べる本が見つけれない ・本が少ない ・調べ方やまとめ方が分からない ・面倒だから ・インターネットが使いやすい ・その他
23	電子書籍を読んだことはありますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞきます。） ・よく読む ・ときどき読む ・あまり読まない ・読まない	24	印刷された本も読んでいますか。 ・よく読む ・ときどき読む ・あまり読まない ・読まない

25	あなたは、マンガを読みますか。 ・よく読む ・ときどき読む ・あまり読まない ・読まない		26	なにでマンガを読みますか。 ・印刷されたもの ・タブレットやスマートフォンなどの電子のもの ・印刷されたもの・電子のもの両方
27	これまで読書をしてよかったことは何ですか。(複数回答可)〔 〕は小学生用 ・楽しい時間や有意義な時間を過ごせた〔楽しい時間や自分のためになる時間を過ごせた〕 ・知識が身についた〔知らなかったことがわかった〕 ・漢字を読めるようになったり語彙が増えたりした〔知っている漢字や言葉が増えた〕 ・想像したり思考したり、表現したりする力がついた〔想像したり考えたり、伝えたりする力がついた〕 ・特にない ・その他			
28	子供たちが読書（本）に興味を持つためのアイデアや意見はありますか。(任意)「～してほしい」、「～してはどうか」などあれば聞かせてください。 (例「学校のタブレットで電子書籍を読めるようにしてほしい」「学校の図書館にライトノベルのコーナーを作してほしい」「学校の帰りでも行けるように図書館の開館時間を長くしてはどうか」 など) ※小学2年生は実施しない。(タイピングができないため)			

「読書に関するアンケート」 保護者用

☆「本」「読書」については、印刷された本だけでなく、インターネットやスマートフォン・タブレット等で読むもの（電子書籍）も含めて答えてください。

No.	質問（形式）・選択肢	No.	分岐
1	あなたのお子さんの学年を選んでください。 ・小学2年生 ・小学5年生 ・中学2年生		
2	あなたのお子さんは、読書が好きだと思いますか。 ・好き ・どちらかといえば好き ・あまり好きではない ・好きではない	3	なぜ、読書が好きなのだと思いますか。 （複数回答） ・子どもによく読み聞かせをしたから ・学校で読み聞かせをしてもらったから ・子どもにすすめたから ・先生にすすめられたから ・友だちにすすめられたから ・その他
4	なぜ読書が好きではないのだと思いますか。（複数回答） ・字を読むのが苦手 ・おもしろくない ・読むのが面倒 ・途中で飽きてしまう ・その他		
5	あなたのお子さんは、どれくらい本を読んでいますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。） ・ほぼ毎日読んでいる ・週に3回くらい ・週に1回くらい		

	・月に1～2回くらい ・年に数回くらい ・ほとんど読んでいない		
6	ご家庭では、お子さんに本を読んであげていますか。（お子さんが小さかった頃も含めて） ・ほぼ毎日 ・週に3回くらい ・週に1回くらい ・月に1～2回くらい ・年に数回くらい ・ほとんど読んでいない		7 ご家庭では、どなたが、お子さんに本を読んであげていますか。（お子さんが小さかった頃も含めて）（複数回答） ・父 ・母 ・祖父 ・祖母 ・兄・姉 ・おじ・おば ・その他
		8	主にどなたが読むことが多いですか。 ・父 ・母 ・祖父 ・祖母 ・兄・姉 ・おじ・おば ・その他
9	あなた自身は、読書がお好きですか。 ・好き ・どちらかと言えば好き ・どちらかと言えば好きではない ・好きではない		

10	あなたご自身は、ご家庭でどのくらい本を読んでいますか。 ・ ほぼ毎日 ・ 週に3回くらい ・ 週に1回くらい ・ 月に1～2回くらい ・ 年に数回くらい ・ ほとんど読んでいない		
		11	年に数回、ほとんど読んでいない、と回答したその理由は何ですか。（複数回答） ・ 読書する時間がない ・ 読書することにあまり興味がない ・ 文章を読むのが苦手 ・ その他
12	あなたは本をどのようにして入手されますか。（一番多い方法を選んでください） ・ 近隣の図書館や公民館で借りる ・ 購入する ・ 知人から借りる ・ あまり借りたり買ったりしない ・ その他		
13	あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。 ・ 思う ・ どちらかといえば思う ・ どちらかといえば思わない ・ 思わない		
14	あなたは、どうすれば子どもたちがもっとよく本を読むようになると思いますか。（複数回答） ・ 大人が読み聞かせる ・ テレビやゲームの時間を減らす ・ 本についての情報を積極的に知らせる ・ 図書館等に連れていく ・ その他		

15	あなたのお子さんは、調べたいことがあるときに何を活用していますか。 (複数回答) ・本や図鑑、事典 ・新聞や雑誌 ・詳しい人に聞いている ・インターネット ・テレビ・ラジオ		
16	あなたご自身は、電子書籍を読んだことはありますか。 ・よく読む ・ときどき読む ・あまり読まない ・読まない		17
			よく読む、ときどき読むと回答した方は、印刷された本も読んでいますか。 ・よく読む ・ときどき読む ・あまり読まない ・読まない
18	小学生の保護者にお聞きします。四街道市のブックリスト（小学生版）を知っていますか。 ・知っている ・少し知っている ・あまり知らない ・知らない		
19	中学生の保護者にお聞きします。四街道市のブックリスト（中学生版）を知っていますか。 ・知っている ・少し知っている ・あまり知らない ・知らない		